

2. 水源

松山市の水源は、『石手川ダム』と『重信川の地下水』です。

石手川ダムの利水(使用できる水)容量(万 m^3)

石手川ダムは、昭和30年代当時の将来人口予想約37万人をもとに、昭和40年代に建設されたため、現在の50万人を超える都市のダムとしては非常に小さく、およそ50日分の水しかためることができません。



重信川の地下水

重信川流域に松山市の水源は100ヶ所ほどありますが、松山市だけではなく、流域の他の自治体や団体なども取水するため、重信川流域の地下水の取水は限界に近いと言われています。

雨が少なく、降った雨はすぐ海に流れる松山市。そして水を貯える石手川ダムは小さいために、雨が降らない日が続くと、すぐに水が減ってしまいます。そのため、全国でも、松山市は渇水になりやすい地域となっています。

だから、節水が必要です。



1人ひとりの節水できる
水の量はわずかも、



全体でみれば大きな
効果につながります。